

# 事務事業評価(事前評価)シート

<b>主管課(担当名)</b>	保健課(健康推進担当)	<b>事業区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
<b>事務事業名</b>	保健指導及び医師対策経費	<b>事業番号</b>	86

## 1 施策体系

<b>施策体系との関連</b>	<b>施策区分</b>	1-6	高齢者介護の充実
	<b>施策目標</b>	人と人との支え合い高齢者が安心して暮らせるまち	

## 2 事務事業の目的

<b>目的</b>	市内で医療機関等に勤務する介護従事者に対し、修学資金を貸し付け、将来にわたる医療従事者及び介護従事者を確保し、医療体制の充実を図る。
<b>成果</b>	平成28年4月貸付開始。市内で介護・医療機関等に勤務する介護従事者に対し、修学資金を貸し付け、将来にわたる介護従事者を確保し、安定的な体制の確保に資する。
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
<b>事務区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
	27	(内容が斜線表示)					
	28	介護従事者に対する修学資金貸付限度額 月額 4万円 ※償還猶予及び免除規定あり					
	29	介護従事者に対する修学資金貸付限度額 月額 4万円 ※償還猶予及び免除規定あり					
	30	介護従事者に対する修学資金貸付限度額 月額 4万円 ※償還猶予及び免除規定あり					
	31	介護従事者に対する修学資金貸付限度額 月額 4万円 ※償還猶予及び免除規定あり					

  

事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	<b>事業費</b>		2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	9,600
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	9,600
		一般財源						
	<b>人員(人工)</b>		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
	<b>職員費(人員×8,081千円)</b>		2,020	2,020	2,020	2,020	2,020	8,080
	<b>総事業費</b>		4,420	4,420	4,420	4,420	4,420	17,680
維持管理	<b>管理主体</b>							
	<b>運営方法</b>							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	<b>合計/年</b>							

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	介護従事者修学資金貸付者数	5人	10人	10人

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

平成28年4月より貸付枠に介護従事者を追加し、高齢化に伴う人材不足の解消を図り、将来にわたる人材育成を図る。

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	介護に携わる人材の育成を図ることにより、将来にわたり安心して介護を受けられる環境の整備を図ることができる。
-------------------	---

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない</p> <p>資格取得後、市内医療機関等で貸付期間以上勤務することにより、貸付金償還の免除規定等があることから、保護者の経済的な負担軽減を図り、意欲ある学生の資格取得を図れる。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である</p> <p>介護従事者の人材を確保することができる。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない</p> <p>介護に携わる人材の育成を図ることにより、将来にわたり安心して介護を受けられる環境の整備を図ることができる。</p>
エ. 手段の適切性	<p><input type="checkbox"/> 適切である ■現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある</p> <p>根室市医師、医療従事者及び介護従事者修学資金貸付金条例及び規則による。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある</p> <p>根室市医師、医療従事者及び介護従事者修学資金貸付金条例及び規則による。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない</p> <p>介護従事者の人材を安定的に確保することができる。</p>

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 制度周知に努め、利用促進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する</p> <p>平成28年4月より介護従事者への資格取得への貸付を開始したため、現在、貸付希望者はいないが、医療従事者の貸付と同様にホームページ、広報、高校訪問などを通し、資格取得者への周知に努めたい。</p>

作成年度

平成28年度